

◆ 今週のコメント (感染地域, 感染経路については推定を含みます。)

- レジオネラ症の報告が1例(90歳代男性)あり, 症状は発熱, 肺炎, 多臓器不全などです。感染地域は国内で, 感染経路は水系感染です。本年の累積報告数は27例となりました。
レジオネラ症(肺炎型)は土壌や水環境に普通に存在するレジオネラ属菌がヒトに吸引されて感染します。ヒトからヒトへの感染はありませんが, レジオネラ属菌は, 冷却塔, 給湯系などの人工環境にアメーバを宿主として増殖するため, エアロゾルを発生させるジャグジー, 加湿器及び循環水を利用した風呂等は感染の機会を増やすおそれがあり, 注意が必要です。
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が3例(60歳代, 70歳代及び80歳代男性)(第46週追加報告分含む)ありました。感染経路はいずれも医療器具です。本年の累積報告数は40例となりました。
- 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(20歳代男性)(第45週追加報告分)あり, 症状は頭痛, 発熱, 意識障害, 菌血症などです。本年の累積報告数は64例となりました。
- 百日咳の報告が6例(10歳未満男性1例及び女性3例, 40歳代及び50歳代女性各1例)(第45, 46週追加報告分含む)あり, 症状は持続する咳, 夜間の咳き込みなどです。感染地域はいずれも国内です。本年の累積報告数は69例となりました。
- インフルエンザの定点当たり報告数は0.32(22例), 全国では0.52となっています。青森, 三重, 鹿児島, 沖縄の4県で流行入りの目安とされる1.0を超えています。
- 伝染性紅斑の定点当たり報告数が, 京都市, 全国共に, 前週と比べて増加(京都市は0.19から0.21, 全国は0.61から0.65)しました。いずれも本年で最も高い値となっています。

◆ 今週のトピックス: <侵襲性肺炎球菌感染症>

京都市における侵襲性肺炎球菌感染症の平成30年累積報告数は64例(男性34例, 女性30例)となり, 昨年(平成29年)の累積報告数を超えました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類:結核 6例(肺結核 3例, その他結核 なし, 潜在性結核感染者 3例)うち喀痰塗抹陽性 1例
【1月以降の累積報告数 310例(肺結核 141例, その他結核 72例, 潜在性結核感染者 97例)うち喀痰塗抹陽性 69例】
- 四類:レジオネラ症 1例【1月以降の累積報告数 27例】
- 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 3例【1月以降の累積報告数 40例】
- 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 64例】
- 五類:百日咳 6例【1月以降の累積報告数 69例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

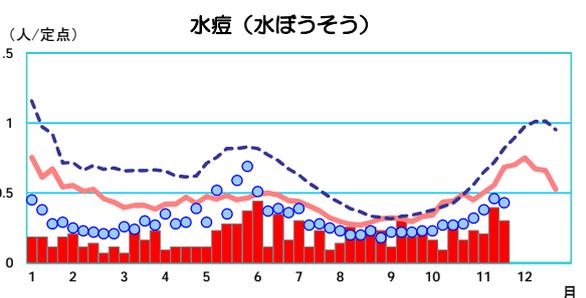
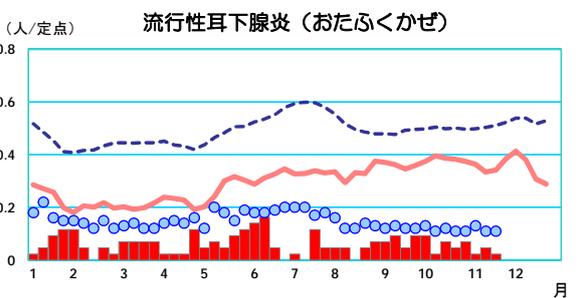
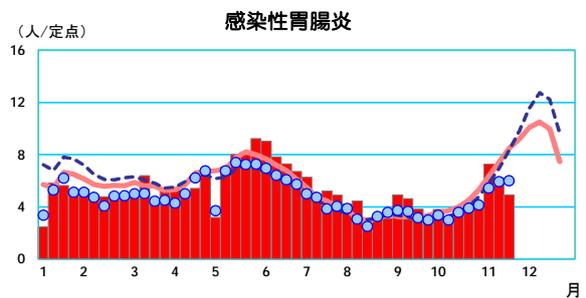
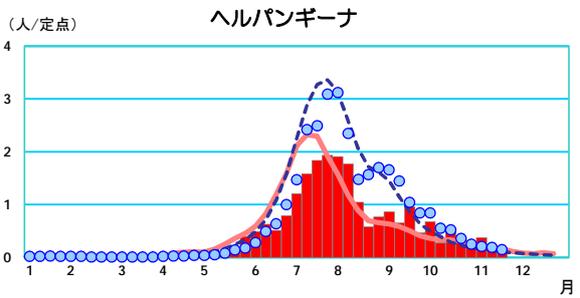
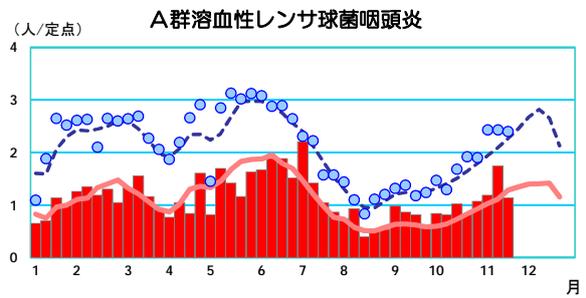
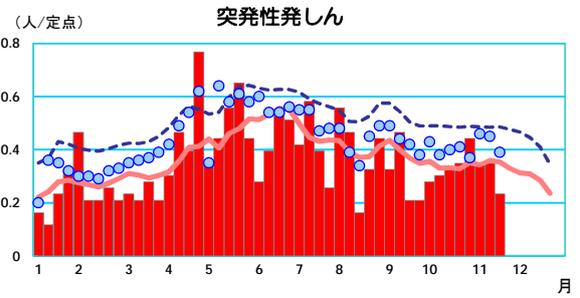
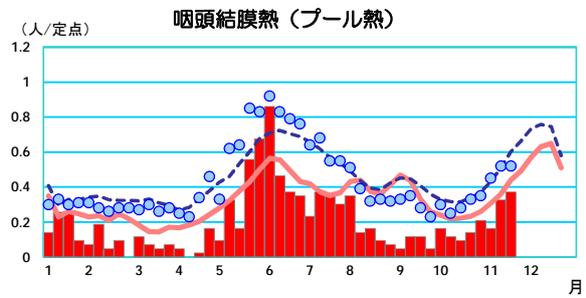
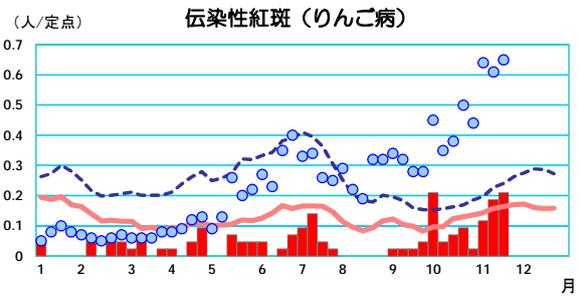
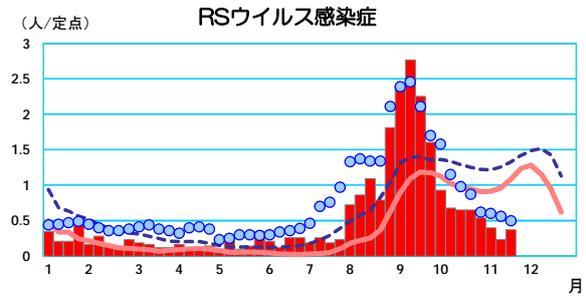
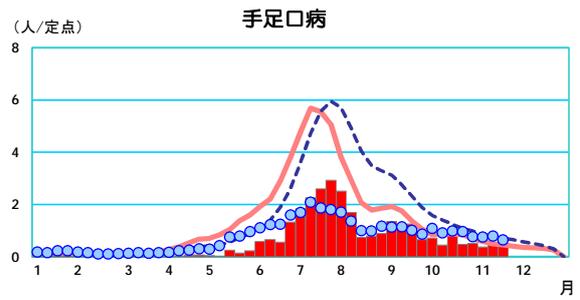
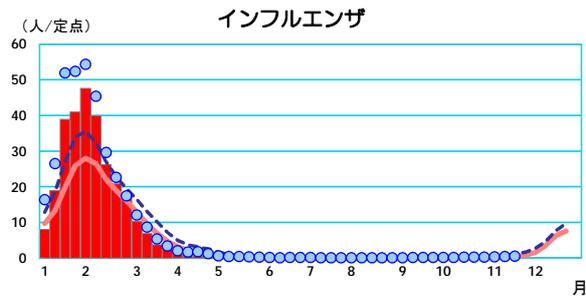
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.32	22
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	4.93	212
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.14	49
	③ 手足口病	0.47	20
	④ RSウイルス感染症	0.37	16
	④ 咽頭結膜熱	0.37	16
眼科	流行性角結膜炎	0.40	4

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <侵襲性肺炎球菌感染症>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは, 平成30年11月28日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。
* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成30年）



第47週(11月19日～11月25日)トピックス: < 侵襲性肺炎球菌感染症 >

京都市及び全国の発生動向

京都市における侵襲性肺炎球菌感染症の平成30年累積報告数は64例(男性34例, 女性30例)となり, 昨年の累積報告数を超えました。年齢階級別報告数の推移は, 0～4歳と60歳代以降にピークが見られます(図1)。肺炎球菌は, 乳幼児の鼻咽頭に常在していることが多い菌で, 抵抗力低下等により宿主と菌の均衡が崩れて体内に侵入すると発症に至ることがあります。

平成28年の人口動態調査によると(図2), 感染症による死亡者総数(折れ線)は, 男女とも70歳代以降急激に増加していますが, 侵襲性肺炎球菌感染症による死亡者数(棒グラフ)は, より若い60歳代男性の死亡者数が多く, 加えて10歳未満の死亡報告もあり注意が必要です。

症状

潜伏期間は不明で, 症状は小児と成人で異なります。小児の場合, 肺炎を伴わず, 発熱のみを初期症状とした菌血症(*)が多く見られます。成人の場合, 発熱, 咳嗽, 喀痰, 息切れを初期症状とした菌血症を伴う肺炎が多く見られます。

(*)菌血症: 本来, 無菌であるはずの血液中に細菌が存在する状態です。

予防

侵襲性肺炎球菌感染症の予防にはワクチン接種が有効とされています。京都市で本症と診断され報告のあった患者のうち, 0～4歳のワクチンを接種していた割合は70%を超えていますが, 報告数が多い60歳代以上では未接種と接種歴不明を合わせて95%近くになっており(図3), 高齢者に対するワクチン接種がまだまだ浸透していないことが伺われます。

京都市では, 「小児用肺炎球菌ワクチン」及び「高齢者用肺炎球菌ワクチン」を定期接種として実施しています。詳しい情報については, 下記URL(健康安全課ホームページ)を御参照ください。

- 京都市が実施する定期の予防接種について(子どもの予防接種)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000130799.html>
- 高齢者肺炎球菌ワクチンの定期の予防接種について
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000171591.html>

図1 京都市の年齢階級別報告数の推移(平成25年4月1日～平成30年11月25日)

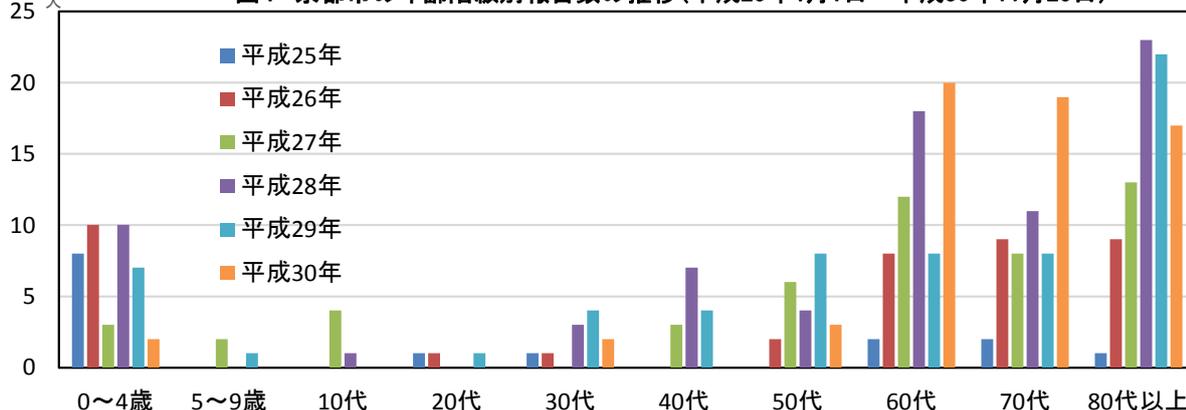


図2 平成28年人口動態調査による年齢階級別・男女別死亡数

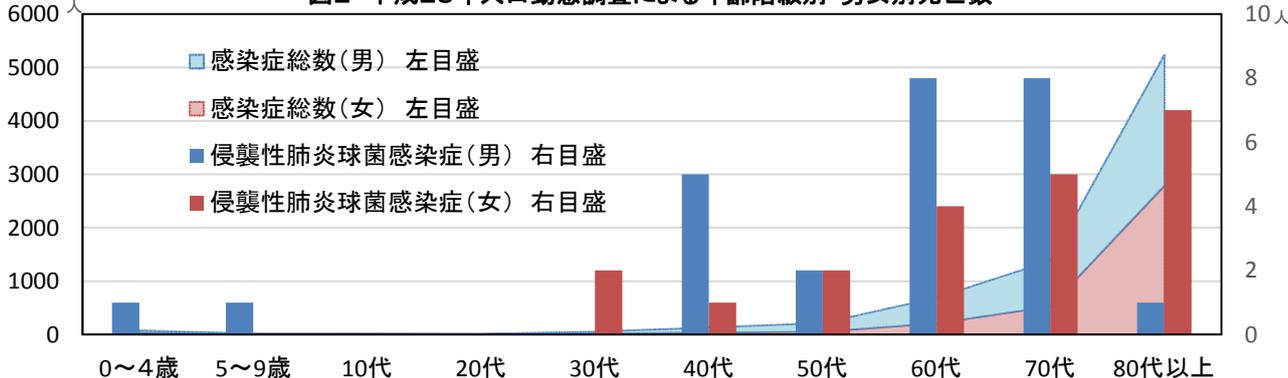
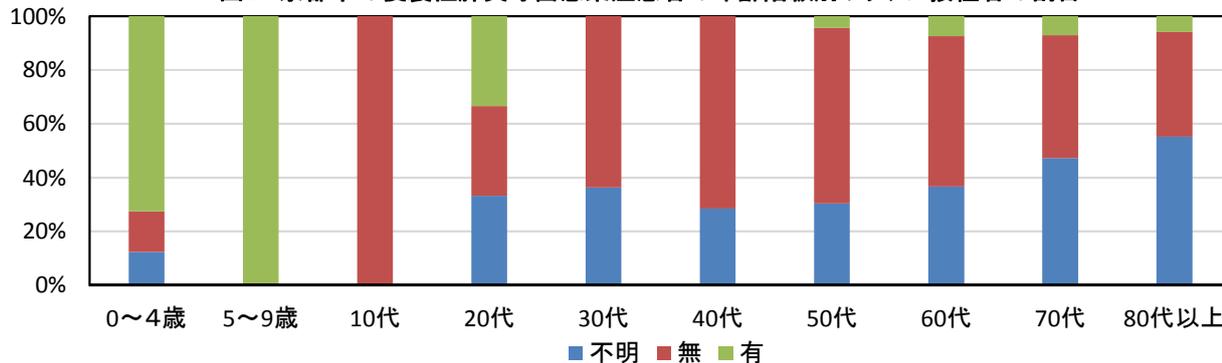


図3 京都市の侵襲性肺炎球菌感染症患者の年齢階級別ワクチン接種者の割合



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第47週

疾病,行政区別報告数

平成30年11月19日～平成30年11月25日

データ入手日:平成30年11月28日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																			
北	1	1	-	-	4	-	-	1	-	-	-	-	2						
上京	1	-	-	4	3	1	-	-	-	-	-	-	-						
左京	3	-	7	5	40	4	1	-	3	-	-	-	-						
中京	-	2	-	-	8	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	2	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	1	2	1	8	6	-	3	1	1	1	-	-	2						
下京	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	3	1	-	2	29	-	2	2	-	-	-	-	-						
右京	2	6	5	8	30	4	2	3	2	1	1	-	-						
伏見	8	2	1	13	49	1	8	1	4	1	-	-	-						
西京	1	2	2	9	29	2	3	1	-	-	-	-	-						
京都市計	22	16	16	49	212	13	20	9	10	3	1	-	4	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																			
北	0.14	0.25	-	-	1.00	-	-	0.25	-	-	-	-	2.00						
上京	0.20	-	-	1.33	1.00	0.33	-	-	-	-	-	-	-						
左京	0.43	-	1.75	1.25	10.00	1.00	0.25	-	0.75	-	-	-	-						
中京	-	0.67	-	-	2.67	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	0.67	-	-	-	6.00	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	0.14	0.40	0.20	1.60	1.20	-	0.60	0.20	0.20	0.20	-	-	2.00						
下京	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	0.60	0.33	-	0.67	9.67	-	0.67	0.67	-	-	-	-	-						
右京	0.25	1.20	1.00	1.60	6.00	0.80	0.40	0.60	0.40	0.20	0.20	-	-						
伏見	0.73	0.29	0.14	1.86	7.00	0.14	1.14	0.14	0.57	0.14	-	-	-						
西京	0.13	0.40	0.40	1.80	5.80	0.40	0.60	0.20	-	-	-	-	-						
京都市計	0.32	0.37	0.37	1.14	4.93	0.30	0.47	0.21	0.23	0.07	0.02	-	0.40	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第47週

年齢階級, 疾病別報告数

平成30年11月19日～平成30年11月25日

データ入手日:平成30年11月28日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	22	-	1	2	-	-	-	1	2	1	-	2	6	1	1	-	1	2	-	1	1
RSウイルス感染症	年齢3	16	1	5	7	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1						
咽頭結膜熱		16	-	-	2	3	5	2	-	1	1	1	1	-	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		49	-	-	1	3	3	9	3	7	7	3	4	5	-	4						
感染性胃腸炎		212	2	8	37	23	21	27	19	10	16	3	10	15	3	18						
水痘		13	1	-	-	1	1	1	3	2	2	1	-	-	1	-						
手足口病		20	-	3	4	2	1	5	-	3	-	-	1	1	-	-						
伝染性紅斑		9	-	-	1	-	1	3	1	2	1	-	-	-	-	-						
突発性発しん		10	-	4	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ		3	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎		1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-						
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.32	-	0.01	0.03	-	-	-	0.01	0.03	0.01	-	0.03	0.09	0.01	0.01	-	0.01	0.03	-	0.01	0.01
RSウイルス感染症	年齢3	0.37	0.02	0.12	0.16	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02						
咽頭結膜熱		0.37	-	-	0.05	0.07	0.12	0.05	-	0.02	0.02	0.02	0.02	-	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.14	-	-	0.02	0.07	0.07	0.21	0.07	0.16	0.16	0.07	0.09	0.12	-	0.09						
感染性胃腸炎		4.93	0.05	0.19	0.86	0.53	0.49	0.63	0.44	0.23	0.37	0.07	0.23	0.35	0.07	0.42						
水痘		0.30	0.02	-	-	0.02	0.02	0.02	0.07	0.05	0.05	0.02	-	-	0.02	-						
手足口病		0.47	-	0.07	0.09	0.05	0.02	0.12	-	0.07	-	-	0.02	0.02	-	-						
伝染性紅斑		0.21	-	-	0.02	-	0.02	0.07	0.02	0.05	0.02	-	-	-	-	-						
突発性発しん		0.23	-	0.09	0.12	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ		0.07	-	-	0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎		0.02	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-						
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.20	-	0.20	-	
細菌性髄膜炎(※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第47週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成30年11月28日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	11	2	4	13	13	22
RSウイルス感染症	28	28	23	17	10	16
咽頭結膜熱	4	6	9	7	14	16
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	44	35	46	51	75	49
感染性胃腸炎	167	186	175	313	267	212
水痘	12	7	10	9	17	13
手足口病	42	20	22	16	21	20
伝染性紅斑	3	4	1	5	8	9
突発性発しん	14	15	19	15	15	10
ヘルパンギーナ	21	16	8	16	8	3
流行性耳下腺炎	3	2	3	1	2	1
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	7	8	6	4	4	4
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	356	329	326	467	454	375

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	0.16	0.03	0.06	0.19	0.19	0.32
RSウイルス感染症	0.65	0.65	0.53	0.40	0.23	0.37
咽頭結膜熱	0.09	0.14	0.21	0.16	0.33	0.37
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.02	0.81	1.07	1.19	1.74	1.14
感染性胃腸炎	3.88	4.33	4.07	7.28	6.21	4.93
水痘	0.28	0.16	0.23	0.21	0.40	0.30
手足口病	0.98	0.47	0.51	0.37	0.49	0.47
伝染性紅斑	0.07	0.09	0.02	0.12	0.19	0.21
突発性発しん	0.33	0.35	0.44	0.35	0.35	0.23
ヘルパンギーナ	0.49	0.37	0.19	0.37	0.19	0.07
流行性耳下腺炎	0.07	0.05	0.07	0.02	0.05	0.02
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.70	0.80	0.60	0.40	0.40	0.40
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	8.72	8.25	8.01	11.05	10.75	8.84

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。